

情報システム管理室

和田悠久 増淵一希 山口純和 矢島啓司 濱中亮

情報システム管理室では、病院内における情報システムの企画・運用・管理やユーザー支援・研修、情報資産の安全管理などを行っています。

患者さんが来院され受付から診察や入院、検査、会計まで、円滑な医療サービスが提供できるように、情報システムの安定稼働を管理しています。

また病院のICT化により得られた様々なデータを分析して病院の運営に生かし、さらなる医療サービスの向上や医療の効率化を目指し、当院および地域医療に貢献できるように努めています。

業務内容

1. 電子カルテシステム、基幹業務（コンピュータシステム） 導入、運用、保守、管理
2. ハードウェア 導入、保守、管理
3. ソフトウェア 導入、保守、管理
4. サーバー 導入、保守、管理
5. 各種部門システム 導入、保守、管理
6. 院内ネットワーク 導入、保守、管理
7. イン트라ネット 運用、保守、管理
8. 院内ユーザーのヘルプデスク
9. 院内行事のシステムサポート
10. 経営判断資料、各種調査等に係るデータ抽出、集計、加工
11. 統計資料（診療科別統計、科別損益ほか）の作成

平成25年主なシステム対応イベント

- 2月 MEWS（早期警告システム）稼働
- 3月 手術室無線レントゲンポータブルDR稼働
- 4月 地下手術室稼働
- 6月 スクリーンセイバー自動ログアウト機能
情報システム管理部会 全国会議
- 7月 脳卒中セミナー システムサポート

- 9月 研修医カウンターサイン運用
かまくらクリニックPACS稼働
検体検査搬送システム稼働
JCI認証更新サーベイ
- 11月 日本美容抗加齢医学会 システムサポート
- 12月 病理画像自動カルテ転送稼働

●MEWS稼働、JCI認証更新の年

今年の大きなシステム稼働は早期警告システムであるMEWSを稼働したことです。バイタルサイン等を数値化しスコア化することにより、患者さんの重症化や急変による死亡のリスクを最小限に抑えることが期待されます。

また、JCI認証更新年ということもあり、JCI基準（Ver5）を満たすためのシステム対応に追われました。電子カルテシステムのカスタマイズ、データ出力及び集計によるシステムサポートの他、JCIのカテゴリーの一つであるMOI（情報の管理）の分野ではプロジェクトの中心を担いました。

●診療スタッフが安全で質の高い医療を提供できる情報システムの運用

医療のスタンダードは常に変化しており、JCI基準は更に進んでいます。医療情報システムの分野でも効率化、負荷軽減を進めていくとともに、安全で質の高い医療を提供すべく日々取り組んでいます。

統計資料では、BIツールの積極利用を啓蒙し、各部門の業務量の比較等経営方針を決定する1つのツールとして積極活用を進めています。